

災害に備えながら、長く快適に暮らし続けられる住まい 宿泊体感型モデルハウス「お泊まりハウス」をオープン

サーラ住宅株式会社（本社：愛知県豊橋市、代表取締役社長：山口信仁）は、愛知県みよし市にある全288区画の大規模分譲地「MIYOSHI MIRAITO／ミヨシミライト」内に、レジリエンス機能とLCCM（ライフ・サイクル・カーボン・マイナス）仕様のスペックを備えた宿泊可能なモデルハウスのサービスを8月4日から開始します。



『テクノロジーの力をちょっと借りて、スマートに森と暮らす』をコンセプトに開発された分譲地「MIYOSHI MIRAITO」は、全住戸に太陽電池と非常時給電システムを搭載し、センターハウスには太陽電池・蓄電池・V2Hといった非常用電源や防災備蓄倉庫、マンホールトイレを備えるなど、街全体でレジリエンス機能の実現を目指しており、この度オープンするモデルハウスでは、【耐震＋断熱＋エネルギーの自給自足＋備蓄＋垂直避難】の5つの機能を備えています。

1. 耐震：防災拠点並みの耐震設計と、制震装置の採用による繰り返し発生する余震への対応
2. 断熱：空調が使用できない場合も室内の温熱環境を快適に保つ HEAT20 G2 レベルの LCCM 仕様
3. エネルギーの自給自足：太陽電池と外部給電システムによる創エネ＋車から家への給電
4. 備蓄：36ℓの貯水タンクと、大型食品庫でのローリングストック提案
5. 垂直避難：屋根裏のデッドスペースを活用した空間提案「天空間」による垂直避難

これまでレジリエンス機能を提案する上で最もコストを要していた「エネルギーの自給自足」を1/10以下のコストで提案できるようになった他、常時新鮮な水が宅内を循環する貯水タンクを床下に設置することで手間を掛けずに災害用の飲料水・生活水確保を実現するなど、当社は「レジリエンス機能を備えた住まいを、誰にでも手が届く当たり前の品質」に変えていく提案に取り組んでまいります。

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

サーラ住宅株式会社 本社マーケティング室 担当：坂田 TEL：0532-32-7272 Mail：info@sala-house.co.jp